

ヘルス

health



私が高校を卒業した
1980年当時は、
「理学療法士」という
職業はもちろん、リハ
ビリテーションという
言葉自体、あまり聞か
れない時代でした。
「理学療法士になった

め専門学校へ進学した
していくのが気になっ
い」と先生に伝えると
「理学療法士とは何だ
？」と言われたことを
思い出します。

「立派に自覚で生活で
きるだろうか？」患者
きるだろうか？」患者

家族へ
や患者
不安
解消

よくなりたい 思いを大切に

専門学校を卒業後、
17年間病院に勤務して
いました。自信を持っ
て治療にあたった患者
が、不安な表情で退院

や家族は、尽きない不
安を受け入れているわ
けではなく、「これ以
上よくなるなら」と諦
めているのです。本当

は、努力することなく
完全によくなる奇跡を
希望している人も少な
くありません。
一方で、努力するこ
とでよくなるのであれ
ば、がんばってみよう
という方も少なくあり
ません。この「もっと
よくなりたい」「も
っと、もっと…」をい
つも大切にしたいと思
っています。(宮崎市・
有限会社ケアプロジェ
クト代表 吉野喜裕)

いきいきネット